

令和3年度

大森第一小学校の研究

研究主題

多面的、総合的に考える力の育成
～理科、生活科の指導の工夫を通して～

研究主題設定の理由

「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」を教科教育の中で育成する

育成を目指す児童の能力・態度

- ◆本校では、平成30年度から令和2年度まで、東京都教育委員会及び大田区教育委員会の教育研究推進校として、ESDについて研究をした。そこで、これらの研究成果を生かすこととした。
- ◆「7つの能力・態度¹」のうち、本校独自の「ESDアンケート²」の結果から課題と捉えた「多面的、総合的に考える力」に焦点化して育成を目指すこととした。

理科、生活科を通して

- ◆令和2年度までは、主に総合的な学習の時間を軸に据えた研究を行ってきた。その過程で、教科教育の中で能力・態度を育てることの必要性を共有した。
- ◆そこで、今年度は、理科及び生活科の指導に焦点化し、教科教育の中で能力・態度を育成する指導の手だてを見いだすことを目指す。
- ◆以上の理由から、本研究主題を設定した。

¹ 国立教育政策研究所「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」(2013)の中で、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度(例)として示された。

² 「7つの能力・態度」について、児童が自己評価し、教師が児童の支援や授業改善に生かすためのものである。本校独自の質問項目を設定した。

令和4年3月
大田区立大森第一小学校